

2025年度社会福祉法人富士見市社会福祉事業団(介護部門)研修計画

法人理念

ともに歩むことを大切にします

介護福祉事業運営方針

- 利用者一人ひとりを大切にし、笑顔あふれる満足度一番の事業所をめざします
- 超高齢社会に適切に対応し、積極的に地域貢献できる総合福祉サービス事業所をめざします
- 利用者の最適な選択のため、災害対策や先進的介護を実践できる事業所をめざします

職員育成方針

利用者の尊厳ある自立した日常生活を支援するため知識と技能を習得し、実践できる職員を育成する

常に利用者、職員ともに相手の立場に立って考え、チームケアの一員として行動することができる職員を育成する

福祉の専門職として自ら学び、常により良いサービスを提供するため、改善や多様なニーズに応えることができる職員を育成する

今年度の重点目標

業務継続に向けて、感染症や災害対応力を強化するため、実践的訓練を行う

職員研修体系に沿った資格取得者を増やし、職員の質と能力の向上を図る

自分の目標

※注意1 裏面補足もモレの無いように実施すること

※注意2 年間スケジュール 別紙

2025年度社会福祉法人富士見市社会福祉事業団(介護部門)研修計画

補足

アセッサー取得者は、所属介護職員のキャリア段位取得者を2名以上とする。 (2024.6時点でアセッサー3名)

特養（従来型）職員のうち、アセッサー取得者を4名以上とする。

「中堅Ⅰ」以上の介護福祉士未取得者の実務者研修及び国家試験受験を促す。

自主研修希望者は、所属長へ相談するものとし、所属長は、希望する職員の業務に必要な知識の習得と自己啓発意欲の向上が図れると見込まれる場合は、受講に協力する。